

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」富塚校			
○保護者評価実施期間	2024年11月1日		～	2024年11月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数)	16名
○従業者評価実施期間	2024年11月1日		～	2024年11月30日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6名	(回答者数)	6名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年1月13日			

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	教員経験の豊富な指導員がいるため、就学の際の進路について相談に乗ることができる。	進路について不安を感じている保護者の方に相談や面談の機会を提案している。	就学後の進路について、どの職員でもある程度相談に乗れるよう、情報や知識を共有していく。 また研修会等があったら参加し知識を身に着ける。
2	定期的に小集団イベントを開催している。	開催する曜日を月ごとに変えたり、月二回開催にすることで多くの利用者が参加できるよう工夫している。	他校舎の小集団イベントの実践例を参考にしたり、研修等に参加したりして更なる内容の充実を図る。
3	指導員ごとにオリジナルのプログラムを用意し、毎回同じ支援内容にならないよう工夫している。	一人一人の利用者の課題や強みに合わせた支援内容を準備する時間を日々の業務の中で十分にとれるよう工夫している。	支援記録を参考に、継続するプログラムや変更するプログラムを柔軟に判断していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	リトミックなど音楽を支援に取り入れることがあまりない。	校舎内にリトミックの経験のある指導員がいないため。	他校舎にいるリトミックが得意な指導員の支援を見学したり指導方法を教えてもらったりする。また研修会等があったら参加し知識を身に付ける。
2	児童発達支援の対象児童に対し、個別支援のため防災訓練や防犯訓練を行っていないこと。	避難訓練や不審者訓練等を行うと、低年齢の利用者が怖がって十分な活動ができないのではないかという先入観があったため。	低年齢の利用児も理解でき安全にできる訓練のしかたを考え実践していく。
3	幼児の身体にあった机や椅子が少ない。	既存の机や椅子は高さ調節ができないものが多いため。	椅子の上に高さ調節用のクッションを置いたり、足置きを使用したりする。 今後、机や椅子を入れ替える機会があれば高さ調節ができるものにする。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こどもサポート教室「きらり」富塚校					公表日	2025年 2月 15日				
					利用児童数	17名		回収数	16名		
	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応				
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	13	3	0	0	活動の内容によってはスペースの狭さを感じることもある。	机やパーテーションの位置を動かすなどの対応を取り、活動の内容に合わせてスペースの確保に努めています。			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15	0	0	1					
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	12	3	0	1	仕方のないことだが物が多く、視覚的刺激が多いため、集中力が欠けたり、見たものをやりたくなくなってしまうことがある。	利用者様の目線に合わせ、視覚的な刺激になるものは布で覆う等の対応をしています。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15	1	0	0					
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	14	1	0	1	子どものどの点にフォーカスした指導なのか不明です。	フィードバックの際に支援の意図や目的を丁寧に説明します。			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13	0	0	3					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14	0	0	2	まだ数ヶ月なので特性を見て色々試してきているところだと思います。日によって本人自身が違う反応のことも多く、保護者も支援内容が適切なのかもよくわかっていない。	日々の支援の振り返りや、半年に一度のモニタリング等を通して、支援内容が利用者様の課題に沿ったものになっているか見直しをしていきます。			
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13	0	0	2	まだ数ヶ月なので特性を見て色々試してきているところだと思います。日によって本人自身が違う反応のことも多く、保護者も支援内容が適切なのかもよくわかっていない。	日々の支援の振り返りや、半年に一度のモニタリング等を通して、支援内容が利用者様の課題に沿ったものになっているか見直しをしていきます。			
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15	0	0	1	まだ数ヶ月なので特性を見て色々試してきているところだと思います。日によって本人自身が違う反応のことも多く、保護者も支援内容が適切なのかもよくわかっていない。	日々の支援の振り返りや、半年に一度のモニタリング等を通して、支援内容が利用者様の課題に沿ったものになっているか見直しをしていきます。			
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	14	0	0	2	毎回担当してくださる先生が変わり、先生ごとにオリジナルのプログラムを考えてくださっています。	今後とも利用者様が楽しく参加できるようなプログラムを用意していきます。			
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	6	2	1	7	・仲良しクラブがあるが該当しない ・個人的には、あくまで個別指導なので必ずしも必要とは思いません。 ・幼稚園にも見学に来ていただきました。	今後とも保護者様の要望等に合わせ、園訪問等を実施していきます。			
保 護 者 へ	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	16	0	0	0					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15	0	1	0					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	2	1	3	毎週の支援の中にも、保護者も一緒に参加できる活動もあり、とても楽しいです。	今後とも利用者様が楽しく参加できるようなプログラムを用意していきます。			
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	15	0	0	1	支援の後のフィードバックや、その他随時個別でも相談に乗っていただいています。	毎回支援後のフィードバックを熱心に聞いてくださりありがとうございます。			
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	11	2	0	2		フィードバック時やご要望があった際、ご相談にのらせていただいています。			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	16	0	0	0	どの先生も絶対に否定せずポジティブな声掛けをいつもしてくださっています。	お子様お一人お一人の個性を認めて伸ばすことを心掛けております。			

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	4	2	2	8	・仲良しクラブはある ・以前、仲良しクラブでお話されていたように、仲良しクラブの中で意見交換の機会を作っていただければと思います。 ・これまで何回か参加させて頂きました。 (ライフマネープラン、普通級と支援級等の回に参加)	例年保護者向け講演会や座談会を開催しております。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	0	0	2	周知はされていないが申し入れには対応してもらっていると感じた。	相談しやすい環境作りに努めると共に、事業所内相談を周知して参ります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	16	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	14	0	0	2	ホームページ上でブログに小集団の様子などが載っています。	ブログやインスタで活動の様子をお伝えすると共に、自己評価の結果をホームページ上で発信しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	0	0	3		職員全員が個人情報の取扱いに注意することを徹底しております。
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	0	0	5		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	1	1	8	・訓練の日にきらりを利用したことがない ・1度活動内容に組み込んでくださるとよいと思います。	今後支援の中で訓練を行っていこうと思います。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	13	1	0	2		契約時にご説明させていただいた上で、安全に配慮して日ごろの支援を行っています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	10	1	0	5	発生していない。そのようなことは	万が一事故が発生した場合は速やかに保護者様に連絡をさせていただき、状況の説明をさせていただきます。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	16	0	0	0	「やったあーきらりの日だあ！」と、きらりに通所することを楽しみにしています。 いろいろな活動をさせてくれて、子どもが楽しんでいるだけでなく親としても、とても勉強になります。本当にありがとうございます。	ありがとうございます。 今後もお子様が安心して通っていただけるよう努めて参ります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	15	1	0	0	・「やったあーきらりの日だあ！」と、きらりに通所することを楽しみにしています。 いろいろな活動をさせてくれて、子どもが楽しんでいるだけでなく親としても、とても勉強になります。本当にありがとうございます。 ・仕事が楽しみなようです。 ・毎週の活動はもちろんです、小集団の活動をとても楽しみにしています。	ありがとうございます。 どのお子様も通っていただけるよう、活動内容や関わり方を工夫していきたいと思えます。小集団活動も充実したものになるよう努めて参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15	1	0	0	・「やったあーきらりの日だあ！」と、きらりに通所することを楽しみにしています。 いろいろな活動をさせてくれて、子どもが楽しんでいるだけでなく親としても、とても勉強になります。本当にありがとうございます。 ・就学後にも通えたらいいなと思っています。	ありがとうございます。 就学後は放課後等デイサービスでもお子様のより良い発達のご支援をさせていただきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」富塚校				公表日	2025年 2月 15日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	机やパーテーションを動かし、十分なスペースを確保している			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	有資格者を配置している	時間帯によって受け入れ人数が偏らないようにする		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	2	4	・バリアフリーではないため段差等、怪我につながる恐れがある場については声掛けや見守りを行っています ・パーテーションを設置して独立した空間を作り、他児の様子が気にならないようにしている ・バリアフリーではないが、段差等の危険な場所があれば声掛けをしている	絵と文字を使ってこどもに分かりやすく視覚的に注意を促す		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・職員が分担して朝掃除をしている ・朝掃除をこなしている			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	・個室ではないが、パーテーション等で区切って活動することに問題なく支援を行っています。 ・気持ちを落ち着かせたい場合や、静かに過ごしたい子のための別室がある ・パーテーションを動かし、周囲を囲うことができる			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	事業所目標を職員同士で話し合い、設定している			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・保護者からの評価を参考に、業務改善に努めている ・意見箱を設置している			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	朝礼などの会合を設け、よりよい教室運営について話し合っている			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	6	・第三者評価機関の設置なし ・今年度は市の実地調査はなかったが、定期的に内部監査を行い、業務改善につなげている。			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	法人内外の様々な研修に参加し、資質の向上に努めている			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・今後公表の予定です ・子ども一人一人の発達の特性を考え、適切な支援プログラムを作成し、公表している			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	6	0	朝の申し送りを通じて、保護者のニーズや子どもの課題を共有している			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	児発管と指導員が話し合い、子どもにとって必要な支援は何かを考え支援計画を作成している			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	児童発達支援計画をいつでも閲覧できるようにし、適切な支援ができるようにしている			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	市の様式でのアセスメントを作成するとともに、支援の記録を基にしたアセスメントを行っている			

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・子どもの課題を指導員間で共有し、有効なプログラムの立案に努めている ・職員間で情報を共有し、情報を基にプログラムを作成している	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・担任指導員が固定されていないため、様々な内容の支援が提供されている ・担当児童を固定するのではなく、職員が交代して支援している	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	集団イベントを実施し、他児と触れ合える機会を作っている	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	1	・朝礼の中で配慮すべき事柄について確認している ・朝申し送りをして、情報を共有している	口頭で打ち合わせを行う他、事業所内連絡ツールを使って情報共有を行う
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	1	・緊急性のあることはその日のうちに共有、基本は翌日の朝礼で申し送りを行う ・次の日の朝礼で前日の支援の振り返りを行っている ・継続していきたい活動があれば、次回の担当職員に引き継ぎをしている	伝達事項は記録に残し、情報共有する
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	細かく記録を記入している	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	・定期的にモニタリングを実施し、見直しが必要な場合は新たな課題設定を行っている	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	1	・必要に応じて連携を行います ・幼稚園等を訪問し、子どもの様子を見学したり、情報共有したりしている	園や保護者様の要望により連携を行う
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	・保護者の依頼を受け必要に応じて情報共有を行っています ・保護者から希望があれば保育所等訪問支援を行い保育園と情報共有している	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	0	・サポートかけはしシートを作成し情報共有を行っています ・「かけはしシート」を使い、就学前に小学校との連携を図っている ・かけはしシートを作成している	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	0	6	児発管管理者が定期的に浜松市児童発達支援連絡会に参加し交流を図っています 事例検討会などで意見交換を行っています	児童発達支援連絡会に指導員も参加できるように調整していく
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	5		1時間の個別支援のためそのような機会を設けることは難しいが前向きに検討していく	

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・毎支援後の振り返り時に、子どもの状況を報告すると共に情報共有をしている ・支援中に保護者に見学していただき、支援後に課題について話している	
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	2	親子参加型のイベントを開催しています	ペアレントトレーニングは行っていないが、親子参加型のイベント回数は増やしていきたい
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	契約時に行っている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	6	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・個別相談を行い、保護者からの相談に応じている ・希望があれば事業所内相談を行っている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	4	2	年明け、保護者会開催の予定	保護者会や座談会の定期開催 親子参加型のイベントで保護者様同士が交流できるよう職員側から促す
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	希望があれば個別で事業所内相談を行っている	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・ブログやインスタ等で活動の様子を発信している ・毎月ブログを更新し、情報発信している	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	個人情報が記載されているファイルは鍵付きロッカーで保管している	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	視覚情報を用いるなど、分かりやすく伝える配慮をしている	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	2		地域の方々を招待する企画はないが、見学や体験、お問い合わせはいつでも対応可能
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	月に一度防災訓練を実施し、避難するルート等を確認している	
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0		定期的に危険個所の確認をする
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	1	・基本情報シートの提出とヒアリングにより確認させていただいている ・基本情報シートに記載していただき把握している	基本情報シートやアセスメントシートの確認を周知徹底する
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	1	基本情報シートの提出により把握しているが、当事業所に飲食の提供はなし。	基本情報シートやアセスメントシートの確認を周知徹底する
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		定期的に安全管理の確認を行う
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	契約時、書面にて説明を行っている	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	ヒヤリハット作成時には、職員全員が内容を確認し、押印し、再発防止に心がけています	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	研修を受講し、個人のチェック表を用いて虐待防止への意識づけを行っています	

53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0	・どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて契約の際、保護者様には説明をします ・個別支援計画に記載し、提示する際にも説明している	
----	--	---	---	--	--